

基本目標 5

環境共生

人と自然が共生する
環境にやさしいまち

館山のまちづくり絵画コンクール 優秀賞作品



北条小学校2年 ふじた 藤田 けんたろう 健太郎 「ずっとこのこしたいけしき」

たてやまのきれいなけしきが、ずっとずっとのこってくれるといいなと思い、かきました。

第1節 自然環境の保全と景観形成の促進

- (1) 自然環境の保全
- (2) 公害防止対策の推進
- (3) 景観形成の促進

第2節 環境・衛生対策の充実

- (1) 廃棄物処理体制の充実
- (2) 水道事業の経営基盤強化の推進
- (3) 下水道の整備・普及

第3節 資源循環型社会の構築

- (1) 資源循環型社会の構築



第 1 節 自然環境の保全と景観形成の促進

現状と課題

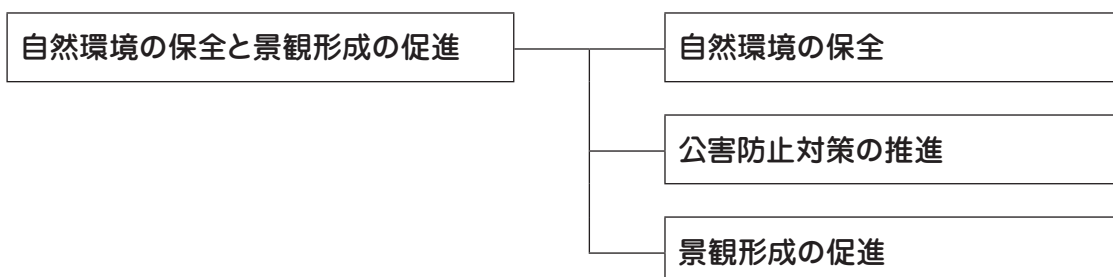
- 市民の生活様式の多様化や農業生産方式の変化、農林業従事者の減少・高齢化、有害鳥獣の増加等により、手入れの行き届かない森林・里山が増加しています。多面的機能を有する森林・里山を維持していくためには、適切な管理を継続していくことが必要です。
- 自然環境の保全には、自然保護思想の普及と自主的・積極的に自然保護活動を担うリーダーの育成が重要です。
- 館山市では、公害発生防止のため、定期的な監視や指導、公害防止協定の締結などに取り組んでいます。また、不法投棄についても、巡回による監視等を実施し、不法投棄の抑止に努めています。しかし、公害や不法投棄に関する相談・苦情は後を絶ちません。これらの問題を未然に防止するためには、地域の環境保全に対する市民一人ひとりの意識の向上が不可欠です。
- 景観形成については、「館山市街並み景観形成指導要綱」に基づき、良好な景観の形成に努めてきました。平成 27 年度には要綱を改正し、「重点地区」を設けることで、統一感のある景観形成に取り組んでいます。今後は、自然景観や歴史的・文化的景観などの視点も加え、計画的な取組が必要です。



基本方針

- 自然保護思想の普及や環境保全意識の向上に努めるほか、公害・不法投棄の防止に努めます。
- 景観に関する計画の策定や条例の制定により、良好な景観形成に取り組めます。

施策の体系



施策の展開

(1) 自然環境の保全

計画事業名	事業内容	担当課
森林・里山保全整備事業	松くい虫のまん延を防止するため、保安林などの松林を重点的・計画的に防除し、森林機能の保全を図ります。 また、里山の保全整備として、旧館山工業団地用地の活用を検討します。	農水産課
自然環境保全活動団体支援事業	自然環境の保全活動に取り組む団体を支援します。	環境課
自然環境保全対策事業	自然環境を守るための指導・規制や緑化の推進に努めます。	環境課
埋立事業者への指導・監督強化	『館山市小規模埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例』の的確な運用と事業者への指導・監督強化により、土壌汚染や災害発生の未然防止に努めます。	環境課

(2) 公害防止対策の推進

計画事業名	事業内容	担当課
公害防止対策事業	工場設置事業者等と公害防止協定を締結するなど、公害の発生防止に努めます。	環境課
水質・土壌・大気監視事業	公害発生防止のための水質調査や土壌調査などを行います。	環境課
不法投棄防止対策事業	防犯カメラの設置や巡回による不法投棄の監視強化等により、不法投棄を抑止します。	環境課

(3) 景観形成の促進

計画事業名	事業内容	担当課
景観計画の策定	自然景観や歴史的・文化的景観などの視点も加えた良好な景観の形成を目指し、「景観計画」の策定と「景観条例」の制定を行います。	都市計画課

成果指標・目標

指標名	現状値	目標値
不法投棄報告件数	74件	50件

第 2 節 環境・衛生対策の充実

現状と課題

- 安房郡市広域市町村圏事務組合において、ごみ処理の効率化と構成市町におけるごみ処理施設の老朽化等に対応するため、新たな広域ごみ処理施設の整備が進められています。現在、館山市のごみ処理は、館山市清掃センターで行っていますが、広域ごみ処理施設への移行までの間、施設の適正な維持管理や環境負荷軽減の対応が求められています。また、最終処分場については、残余容量がわずかとなっていることから、焼却灰の処理については全量を外部委託とし、ガレキ類のみの受入としています。
- 館山市のし尿処理施設である衛生センターでは、処理に伴い発生する汚泥を全量肥料として再利用することで、資源の有効活用にご貢献しています。施設や設備の不具合等が増加傾向にありますが、適切な維持管理による延命化に努めています。
- 水道事業の経営基盤強化のため、南房総地域・九十九里地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合に向けた取組が進んでおり、千葉県及び関係市町との密接な協力のもと、推進していくことが重要です。
- 館山市では、下水道整備事業により、河川や海の水質は格段に改善されてきました。しかし、下水道接続率に課題があり、接続率向上の取組を強化する必要があります。また、施設の老朽化も進んでおり、全体計画を見据えた中で、「長寿命化計画」に基づく適切な維持管理を行い、下水道事業の健全な運営を図ることが重要です。さらに、下水道未整備地区については、合併処理浄化槽の普及に努め、水質汚染を防止することが必要です。

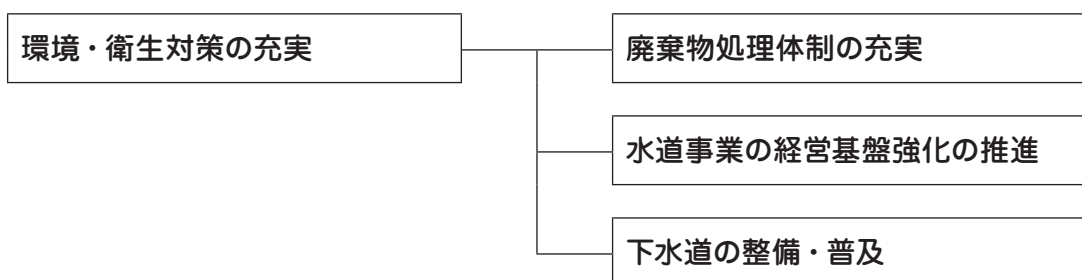


鏡ヶ浦クリーンセンター

基本方針

- 適正な維持管理による廃棄物処理施設の延命化を図り、新たな広域ごみ処理体制への安定的な移行に努めます。
- 千葉県及び関係市町と協力し、南房総地域・九十九里地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合を推進します。
- 河川・海域等の公共用水域の水質汚濁防止、自然環境保全及び快適な住環境づくりのため、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の普及に努めます。

施策の体系



施策の展開

(1) 廃棄物処理体制の充実

計画事業名	事業内容	担当課
広域ごみ処理施設の整備促進	ごみ処理の効率化及び安房地域のごみ処理施設の老朽化に対応するため、安房郡市広域市町村圏事務組合及び構成市町と協力し、環境に配慮した広域的なごみ処理施設の建設を促進します。	環境課
粗大ごみ処理施設運営事業	施設の適正な維持管理により、粗大ごみの効率的な処理や資源リサイクルの推進に努めます。	環境センター
最終処分場運営事業	ガレキ類等の安定した最終処分を図るとともに、周辺環境の保全のため、適正な浸出水処理と施設の機能確保に努めます。	環境センター
清掃センター運営事業	ごみの効率的、効果的な処理を行うため、清掃センターの設備・機器の定期点検や補修を実施し、適正な維持管理と施設の延命化に努めます。 また、焼却灰の処理を市外業者に委託し、最終処分場の延命化、機能確保を図ります。	環境センター
衛生センター運営事業	し尿の効率的、効果的な処理を行うため、衛生センターの設備・機器の定期点検や補修を実施し、適正な維持管理と施設の延命化に努めます。 また、処理汚泥を肥料として有効活用し、環境負荷軽減に努めます。	環境センター

(2) 水道事業の経営基盤強化の推進

計画事業名	事業内容	担当課
県内水道の統合・広域化の促進	千葉県及び関係市町と協力し、南房総地域・九十九里地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合を促進します。	環境課

(3) 下水道の整備・普及

計画事業名	事業内容	担当課
合併処理浄化槽普及事業	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽への転換を支援します。	下水道課
公共下水道館山処理区第2期整備事業	河川・海域等の公共用水域の水質汚濁防止、自然環境保全及び快適な住環境づくりのため、現在の終末処理場の処理能力を踏まえた公共下水道の整備を行います。	下水道課
公共下水道への接続率向上	公共下水道供用区域の周知と水洗便所の改造に対する助成により、接続率の向上を図ります。	下水道課
公共下水道終末処理場維持管理事業	包括的民間委託により、鏡ヶ浦クリーンセンターの効率的な維持管理を図ります。 また、「長寿命化計画」に基づき、適切な維持管理対策を行います。	下水道課
下水道事業特別会計への繰出事務	下水道事業の安定した運営を図るため、一般会計から下水道事業特別会計へ費用の一部を繰り出します。	下水道課

成果指標・目標

指標名	現状値	目標値
合併処理浄化槽への転換補助基数	26 基	5 力年累計 150 基
公共下水道への接続率	67.0%	75%



鏡ヶ浦クリーンセンター
夏休み親子見学会



第3節 資源循環型社会の構築

現状と課題

- 館山市の人口一人あたりのごみ排出量は、事業所から排出されるごみの量が多いこと、海岸漂着ごみが多いことなどから、県内でも上位となっています。事業系ごみの分別促進をはじめとしたごみの減量化・再資源化への取組強化が必要です。また、市内一斉清掃など、市民ぐるみの環境美化運動が実施されていますが、ごみの減量化や再資源化を推進するためには、市民や事業者の高い意識と自主的な取組が必要不可欠であり、環境美化意識の向上が求められています。
- ごみの分別については、広域的なごみ処理体制への移行を見据え、近隣市町との分別区分の平準化を図る必要があります。
- 地球温暖化対策については、『館山市地球温暖化対策実行計画』に基づき、市が率先してCO₂削減目標を立てて取り組むことで、市民・事業者の自主的な活動を促しています。また、公共施設への太陽光発電システム等の導入や、住宅用省エネルギー補助金制度により、新エネルギーシステムの普及促進に努めています。

基本方針

- 環境美化に関する意識啓発を強化し、ごみの減量化やごみの適正処理、再資源化を推進します。
- 市が率先して、地球温暖化防止対策に取り組むことで、市民・事業者の自主的な取組を促進します。

施策の体系

資源循環型社会の構築

資源循環型社会の構築



鏡ヶ浦クリーン作戦

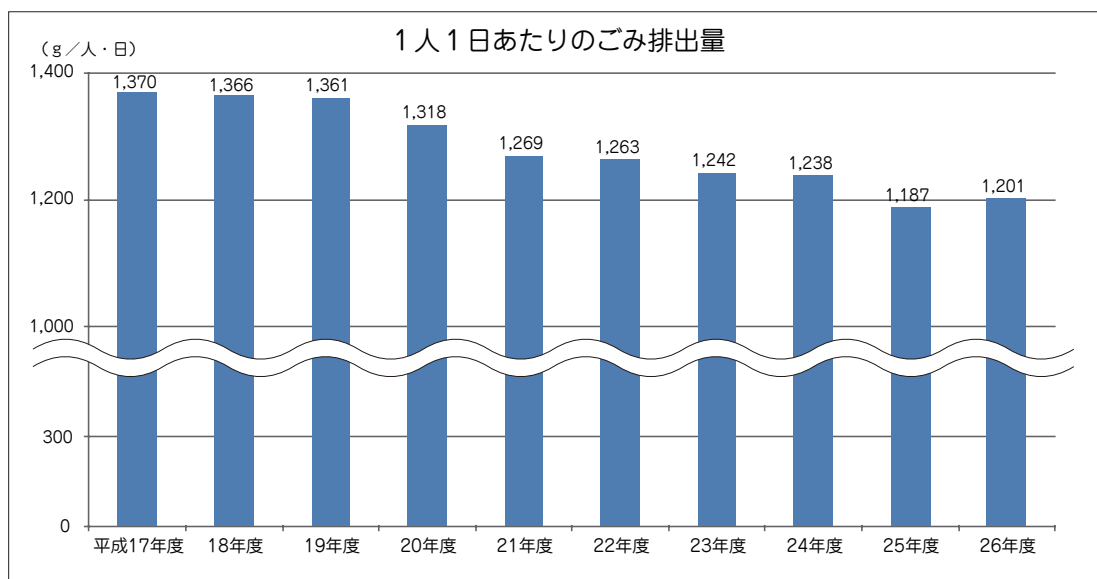
施策の展開

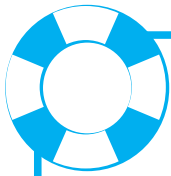
(1) 資源循環型社会の構築

計画事業名	事業内容	担当課
ごみ減量化・再資源化事業	事業系ごみの分別促進や、集団回収の促進を図り、さらなるごみの減量化・再資源化に取り組みます。	環境課
環境美化推進事業	ごみの発生抑制、減量化などに対する啓発活動や環境教育を実施し、環境美化意識の向上に努めます。	環境課
地球温暖化対策事業	公共施設への太陽光発電システム等の導入や住宅用省エネルギーシステム設置に対する支援により、新エネルギーシステムの普及促進を図ります。 また、市が率先して地球温暖化対策に取り組むことで、市民・事業者の自主的な活動を促進します。	環境課

成果指標・目標

指標名	現状値	目標値
1人1日あたりごみ排出量	1,201 g/人・日	1,090 g/人・日
事業ごみ排出量	6,322 t	5,319 t
観光ごみ排出量	40 t	30 t
資源ごみ再資源化量	3,144 t	3,613 t
CO ₂ 排出量	52,967,742kg	50,398,228kg
ごみゼロ週間参加団体数	139 団体	150 団体





館山のまちづくり作文コンクール入選作品

<中学生の部>



一度はおいでよ！我が町館山

第三中学校二年 小林 こばやし 美聖 みさと

「地産地消」

館山には、この言葉がピッタリ合います。海と山に囲まれ、自然が豊かで空気もキレイ。見方によってはちよっぴり田舎町だけど、美味しい食べ物が一年中あふれています。

第一のオススメは海の幸。

魚の他に、エビ・タコ・貝類、そして海藻と数えきれない程、豊かな食材があります。

その中で、鰯を使った「サンガ焼き」はたくさんの人に食べてほしいと思います。学校の調理実習でも作りましたが、魅力的なのは、さばいて残った骨を、油で揚げて「骨せんべい」にできることです。捨てるところが無いくらい、キレイに食べられます。また「天草」という海藻から作る「寒天」も磯の香がプンして、とても食欲をそそります。

第二のオススメ食材は山の幸です。

主に春から夏にかけて採れる物が多いです

が、その中で「枇杷」を知ってほしいです。

房州枇杷は、瑞々しくて他の果物よりも上品な甘みが特徴です。産地は館山よりも近隣地域が有名ですが、館山でも数多く栽培されています。初めて給食に出た時に、皮のむき方を知らない友達がいたので、もっと知名度が上がってほしい果物です。

他にも、しのべ筍や自然薯も白いご飯にバッチリ合う食材です。主食のお米も沢山作られています。他県ほど、ブランド米にはなっていませんが、温暖な館山の陽と風を沢山浴びているので、とても甘みがあります。

ここで紹介した物は、食材の宝庫・館山にある物の一部です。美味しい物がたくさんある地に生まれ、食べて育ってきたことは幸せだと思います。

私は将来「食」に関する職業に就きたいと思っています。その夢が叶った時は、沢山の人に館山の美味しい料理を紹介し「美味しい町館山」へ来てほしいと思います。

※学年は平成 26 年度時点